

第 35 回法人会全国青年の集い佐賀大会に参加して

青年部会長 西岡 稔晴

令和 3 年 11 月 25 日と 26 日に開催された第 35 回法人会全国青年の集い佐賀大会に参加してまいりました。今回の大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で各単位会から部会長一人での参加となり、全国から約 550 人もの部会長が集まりました。また、約 1500 人もの会員がオンラインで参加していました。

25 日は、佐賀市文化会館にて、部会長サミットを歴代の全国法人会総連合青年部連絡協議会の歴代会長 3 人をパネリストとして、これまでの法人会活動である「租税教育」「会員増強」「健康経営」について説明をし、そして、これからの法人会青年部としての活動の在り方を熱く語っていました。熱い話が終わった後は、隣の SAGA プラザ総合体育館に場所を移して、参加者全員が着席して懇親会が開催されました。下ネタ満載のどぶろっくエンターテイメントショー！を見ながら、お弁当を食べて一日目が終了しました。感染対策とはいえ、ドアの開けっぱなしは少し寒く感じましたが、コロナ過での懇親会の開催を決断した実行委員会の皆さんには感謝です。

2 日目の 26 日は、9 時から租税教育活動プレゼンテーションと健康経営大賞（プレ版）プレゼンテーションがあり、四国からは鳴門法人会が発表しましたが、惜しくも奨励賞。最優秀賞には、佐賀法人会の「税金を通して佐賀の未来を考えよう～もしも私が佐賀県知事だったら～」が選ばれました。地元びいきとも思われがちですが、生徒が知事に立候補して税金の使い道を発表したり、45 分や 90 分でできる授業内容を考えたり、もしもワークシートを作ってグループワークで話し合ったりと生徒自身が考えて税金の使い方を理解できるように工夫がなされて、今後と租税教育の参考になりました。

来年が第 1 回の健康経営大賞も今年はトライアル版として開催し、単位会青年部会部門と部会員企業部門からそれぞれ 5 組のファイナリストがプレゼンテーションを行い、最優秀賞として単位会部門は磐田法人会が、部会員部門は札幌北法人会のアイビック食品株式会社が選ばれました。アイビック食品株式会社の「生涯幸福設計シート」による自己実現を図る健康経営推進をはじめ、部会員部門の発表は自社の企業経営でも参考になる情報が沢山あり、来年の第 1 回の開催が楽しみになりました。

15 時からの大会式典と佐賀県出身の優木まおみさんの記念講演をもって、佐賀大会は無事に終了しました。今回は 1 人での参加でしたが、来年の沖縄大会では青年部員とも参加できることを期待したいと思います。